

1. 件名：福島第一原子力発電所における使用済セシウム吸着装置（SARRY、KURION）からの吸着材採取に係る計画に関する面談
2. 日時：令和5年3月10日（金）11：00～12：15
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：  
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
正岡企画調査官、松田室長補佐、佐藤室長補佐、横山係長、塩唐松係員  
大辻管理官補佐（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一原子力規制事務所  
高松原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）  
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所 担当1名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨：
  - 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、使用済セシウム吸着装置（SARRY、KURION）からの吸着材採取に係る計画について、以下の説明を受けた。
    - 吸着材採取のステップ
    - 試料採取装置の構成要素と機能
    - 最新工程（案）
    - 既設設備への波及的影響の追加評価
    - 【装置の概要】作業ドック（WD）
    - 統合試験・トレーニング
    - サンプル入り収納容器の保管容器（A型容器）への格納
    - 被ばくを伴い得る重要トラブル想定
    - 重要トラブル時の対応と作業被ばく評価
    - 全般的な被ばく抑制方策の追加
    - 建屋外への線量影響可能性のある状態と規制計画
    - ダスト拡散の防止
  - 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、作業に際しては、安全に十分留意の上、実施するよう伝えた。
  - 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。
6. その他  
資料：【廃炉・汚染水・処理水対策事業】SARRY、KURIONからの吸着材採取について

以上